

説明資料(第2稿)での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.38	行	24行目
事業名			淀川高規格堤防整備事業		河川名	淀川本川	
府 県	大阪府	市町村				地先	淀川沿川

<p>現状の課題</p> <p>破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。</p>	<p>河川整備の方針</p> <p>高規格堤防</p> <p>まちづくりと一体になった整備の調整が図られた箇所を実施する。</p> <p>特に、人口と資産が集積する、淀川と大和川に挟まれた大阪の中枢部の防御を重点的に実施する。</p> <p>また、実施にあたっては、円滑に事業推進できるよう関係機関との連携を図る。</p>
--	--

位置図

具体的な整備内容

高規格堤防

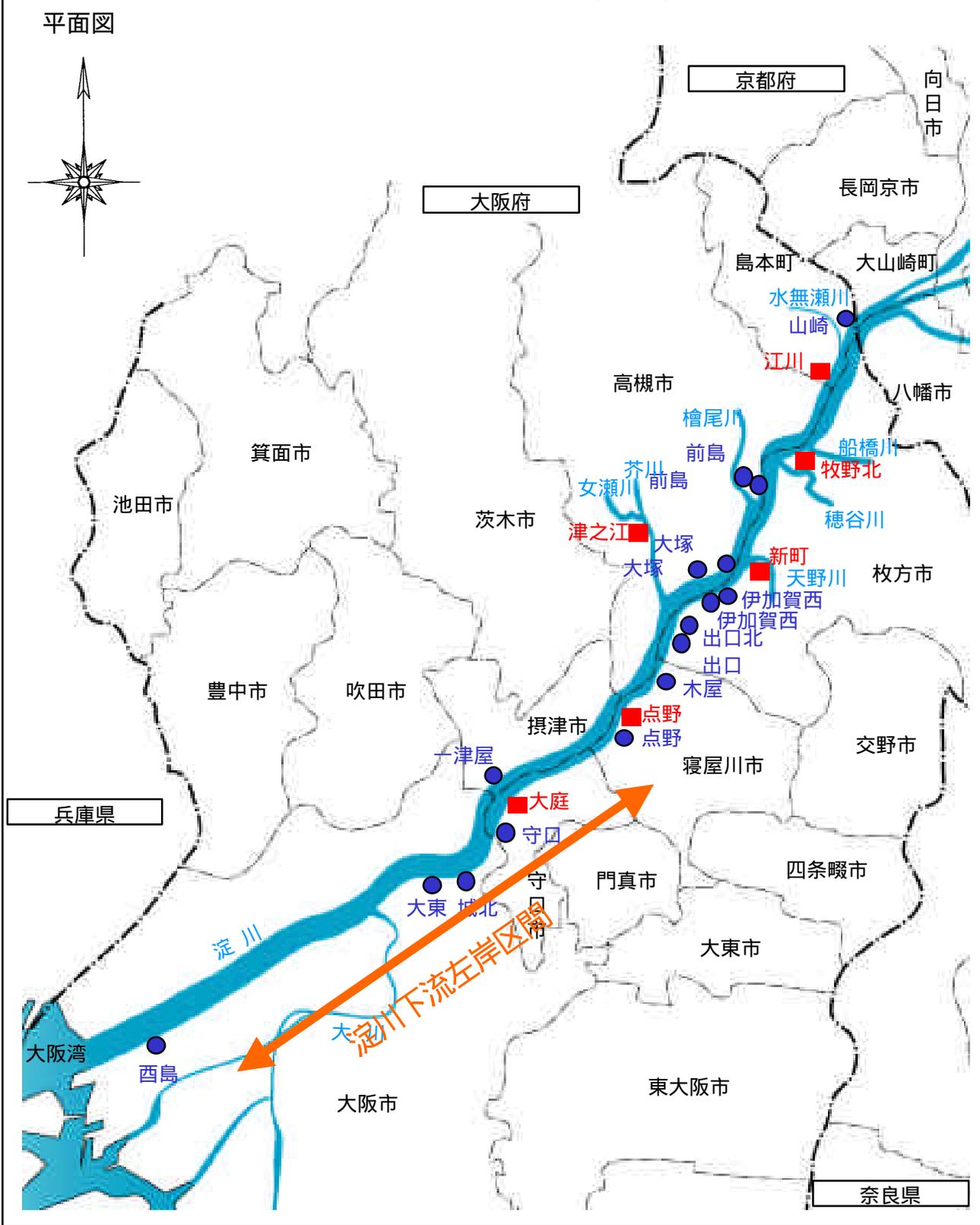
現在、高規格堤防を整備中の点野、新町、江川、牧野北地区は、完成を目指し、継続して実施する。関係行政機関と調整中の大庭地区については早期に事業着手を目指す。

さらに、まちづくり計画との調整が図られた箇所から随時整備していくが、淀川下流左岸区間は、重点的実施に向け、積極的に調整を進める。

なお、整備にあたっては、淀川沿川整備協議会(既存組織)や施設管理者、住民と連携して、まちづくりとの一体整備の調整を図る。

地域住民、関係行政機関と調整中の津之江地区については、調整後、実施する

--



- 凡例
- 暫定完成
 - 継続地区、まちづくり調整中又は調整済地区

整備効果

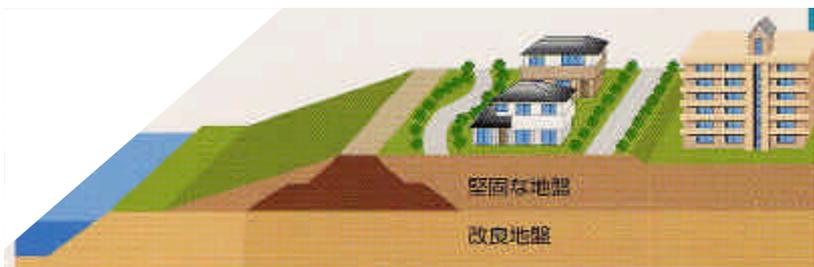
- ・破堤による壊滅的な洪水被害を回避する。
- ・高規格堤防と市街地との一体整備によって、これまで高い堤防で隔てられていた市街地と河川に連続性を持たせ、良好な水辺環境を創出する。

大洪水もこわくない



堤防幅が広くなることで、大洪水が発生して堤防から水があふれても壊れない、安全な堤防となる。

地震にもつよい



地質調査を行って、軟弱地盤は改良するため、地震時の液状化に強い堤防とまちになる。

連続性の確保



背後地をゆるやかに盛土することで、これまで利用しにくかった堤防の斜面部分も公園や緑地になり、水辺の眺望が広がる。

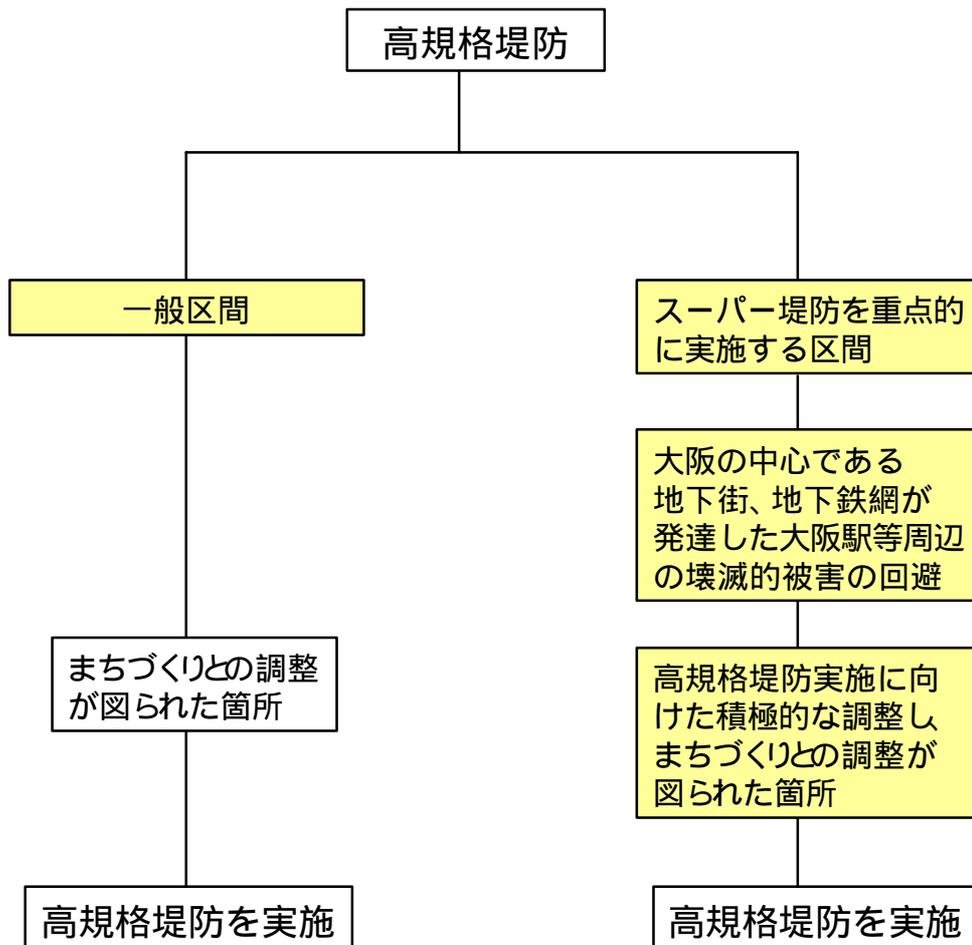
堤防がゆるやかになることで、水際からまち側への不連続が解消され、人や小動物の行き来が容易な河川環境となる。

新しいまちづくり



スーパー堤防整備にあわせ、密集住宅の建て替えなどにより、快適な新しいまちづくりが行える。

提案理由



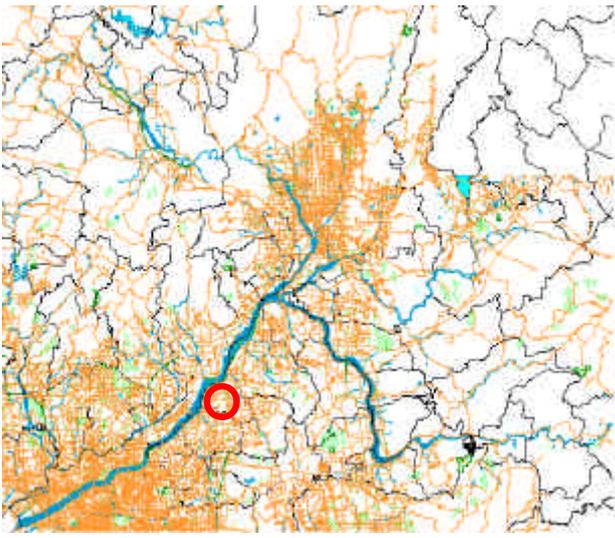
なお、整備中、調整中の箇所については、早期に完成を目指す。

整備にあたっては、次の組織も活用し、関係機関との連携をはかる

淀川沿川整備協議会	
組織構成	大阪府、大阪市、守口市、寝屋川市、枚方市、摂津市、高槻市、島本町 近畿地方整備局

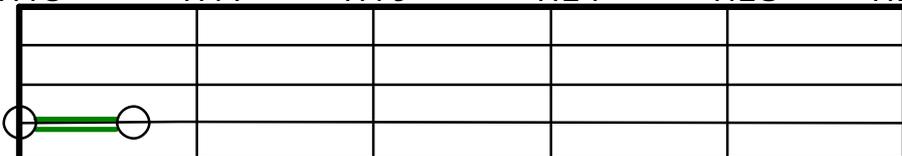
説明資料 (第2稿)での記載箇所	章項目	5.3.1	ページ	p.38	行	26行目
事業名	淀川高規格堤防整備事業		河川名	淀川本川		
府 県	大阪府	市町村	寝屋川市	地先	点野	

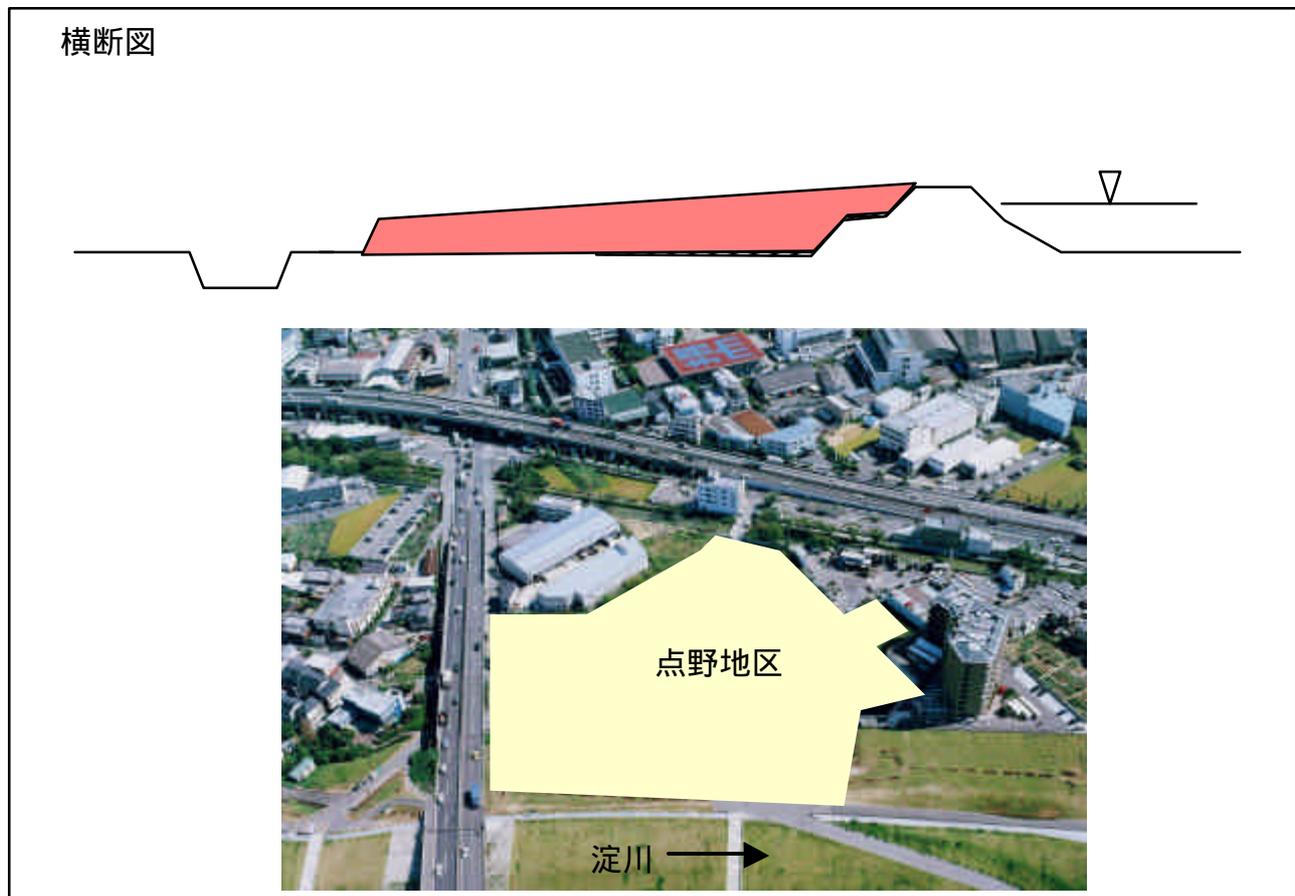
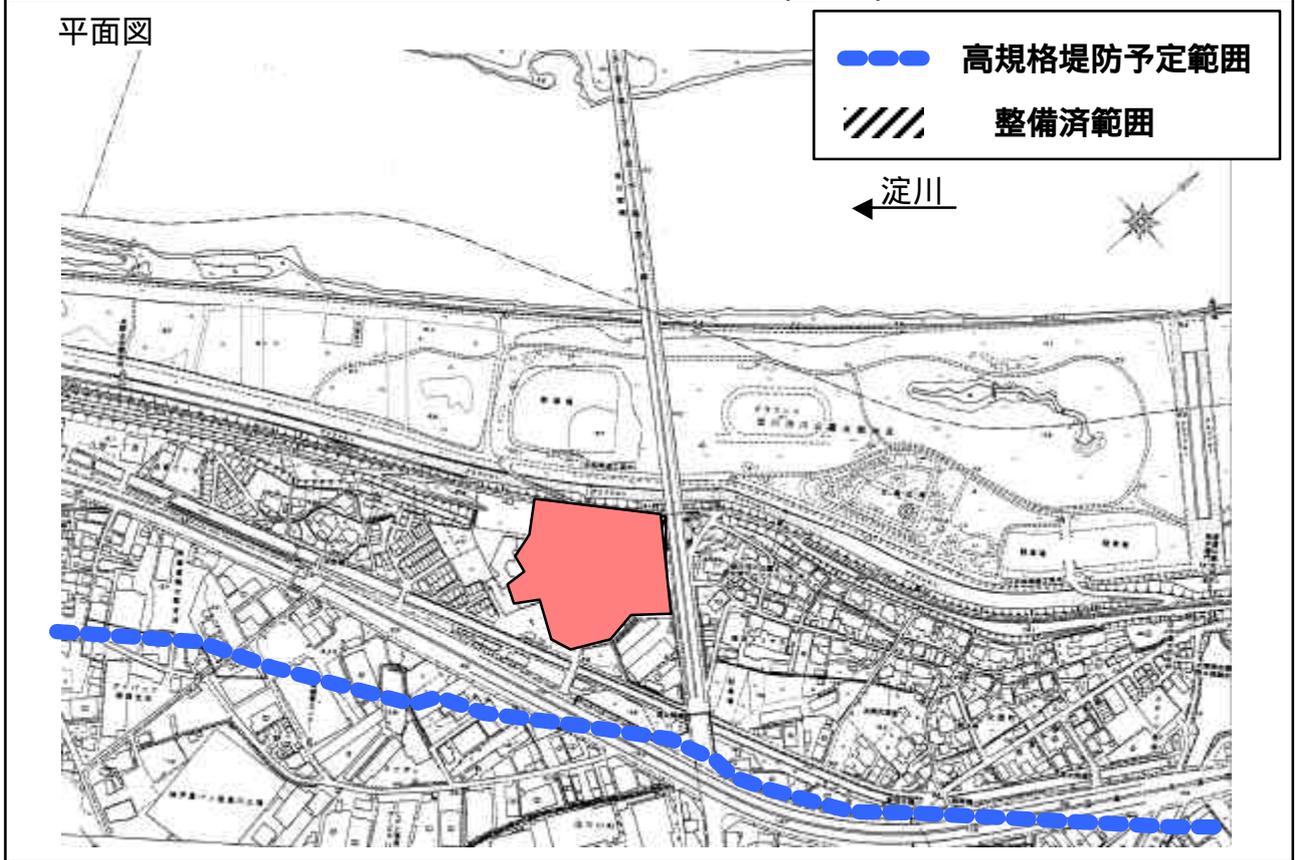
<p>現状の課題</p> <p>破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。</p>	<p>河川整備の方針</p> <p>高規格堤防</p> <p>まちづくりと一体になった整備の調整が図られた箇所を実施する。また、実施にあたっては、円滑に事業推進できるよう関係機関との連携を図る。</p>
---	---

<p>位置図</p> 	<p>具体的な整備内容</p> <p>高規格堤防</p> <p>継続地区の点野地区を実施</p>							
	<p>事業の数量 諸元等</p> <p>(防災拠点整備)</p> <p>延長 120m、面積 1.9ha</p> <p>盛土 5万m³</p> <p>・うち整備計画期間内の数量 諸元等</p> <p>盛土 2万m³</p>							
	<p>事業費</p> <table border="0"> <tr> <td>全体事業費</td> <td>約 60億円</td> </tr> <tr> <td>・うち執行済</td> <td>約 54億円</td> </tr> <tr> <td>・うち整備計画期間内</td> <td>約 6億円</td> </tr> <tr> <td>・うち整備計画期間以降</td> <td>0円</td> </tr> </table>	全体事業費	約 60億円	・うち執行済	約 54億円	・うち整備計画期間内	約 6億円	・うち整備計画期間以降
全体事業費	約 60億円							
・うち執行済	約 54億円							
・うち整備計画期間内	約 6億円							
・うち整備計画期間以降	0円							

スケジュール

== 実施

H15	H17	H19	H21	H23	H25
					

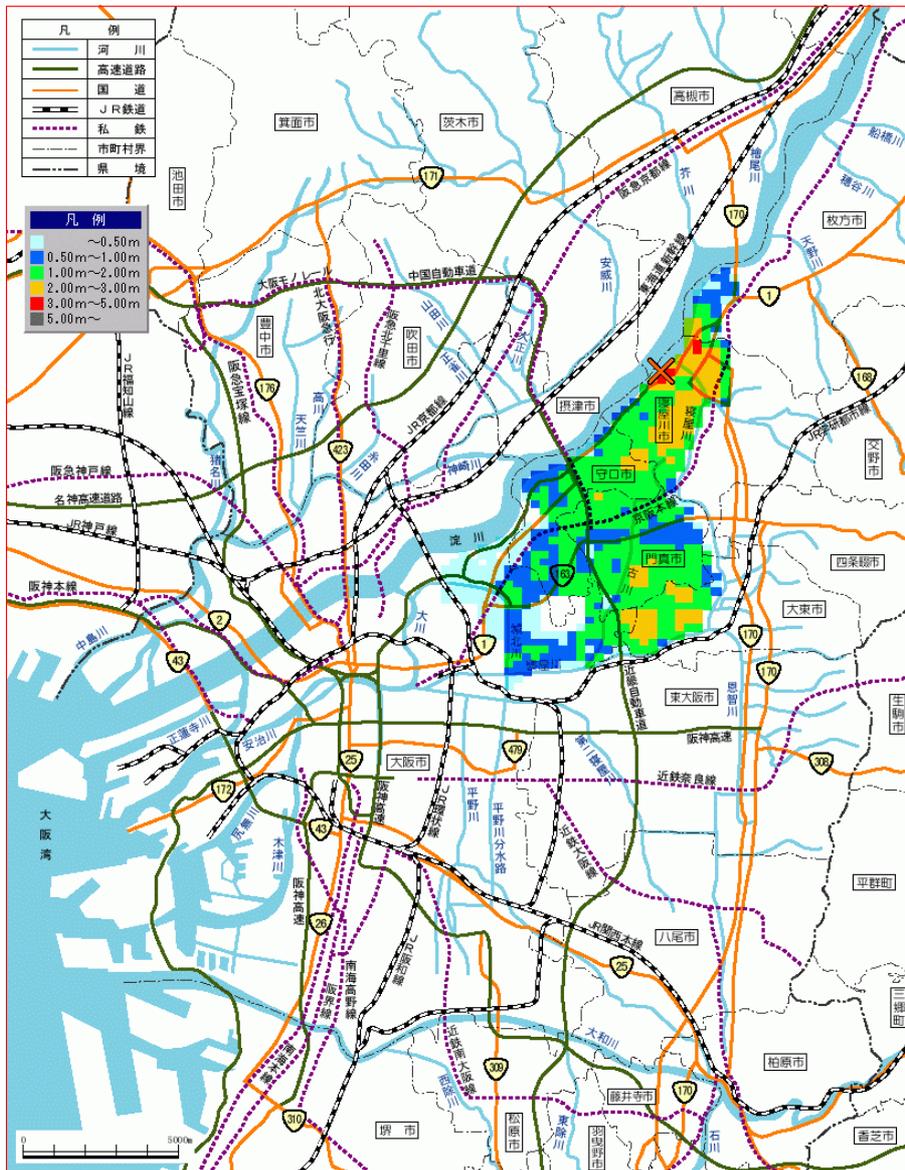


整備効果

- ・当地区を整備することにより、破堤による壊滅的な洪水被害(下表と下図は当地区の100m下流の地点で破堤した場合の被害予測)を回避する。
- ・高規格堤防と市街地との一体整備によって、これまで高い堤防で隔てられていた市街地と河川に連続性を持たせ、良好な水辺環境を創出する。
- ・高規格堤防上を防災拠点(水防用土砂備蓄ヤード)として整備することで、洪水時における周辺地域の水防活動を支援する。

想定氾濫被害 (昭和28年台風13号型の2倍降雨)	
破堤地点	淀川左岸 21.2k
被害額	7.4兆円
浸水面積	5,200ha
被災人口	502,000人
浸水家屋	193,000戸

浸水想定区域図



提案理由

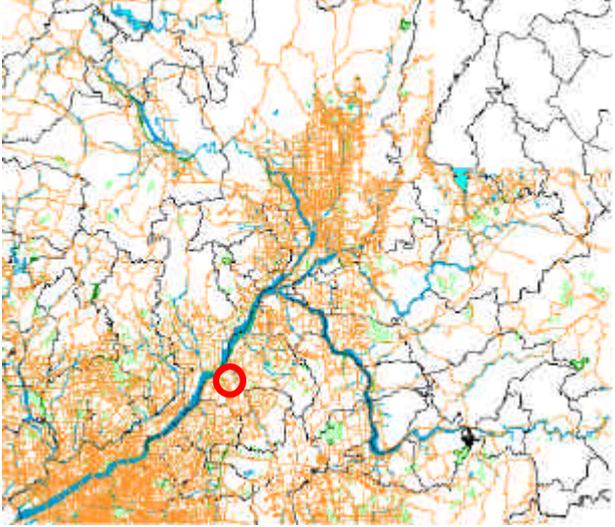
当地区の用地取得について、地権者の合意が得られ、整備内容について地元自治体と調整が図られたので防災拠点として継続して実施する。

調整経緯

- | | |
|---------|--|
| 平成 6年度 | 地権者と調整を開始する。 |
| 平成 8年度 | 防災用として用地買収を開始する。 |
| 平成 9年度 | 用地買収を完了する。 |
| 平成 14年度 | スーパー堤防上面を水防用土砂備蓄ヤードとし、通常時は緑地として整備する計画について地元自治体と調整。盛土工事に着手する。 |
| 平成 15年度 | 配置道路構造等の上面整備詳細について地元自治体と協議中。 |

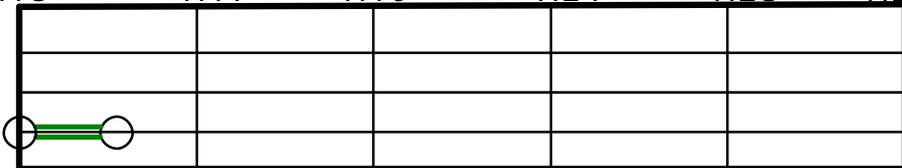
説明資料(第2稿)での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.38	行	26行目
事業名	淀川高規格堤防整備事業		河川名	淀川本川			
府 県	大阪府	市町村	枚方市		地先	新町	

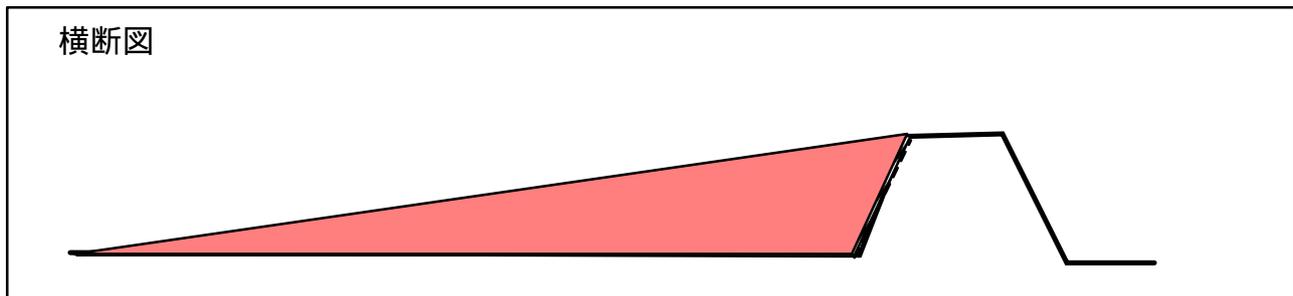
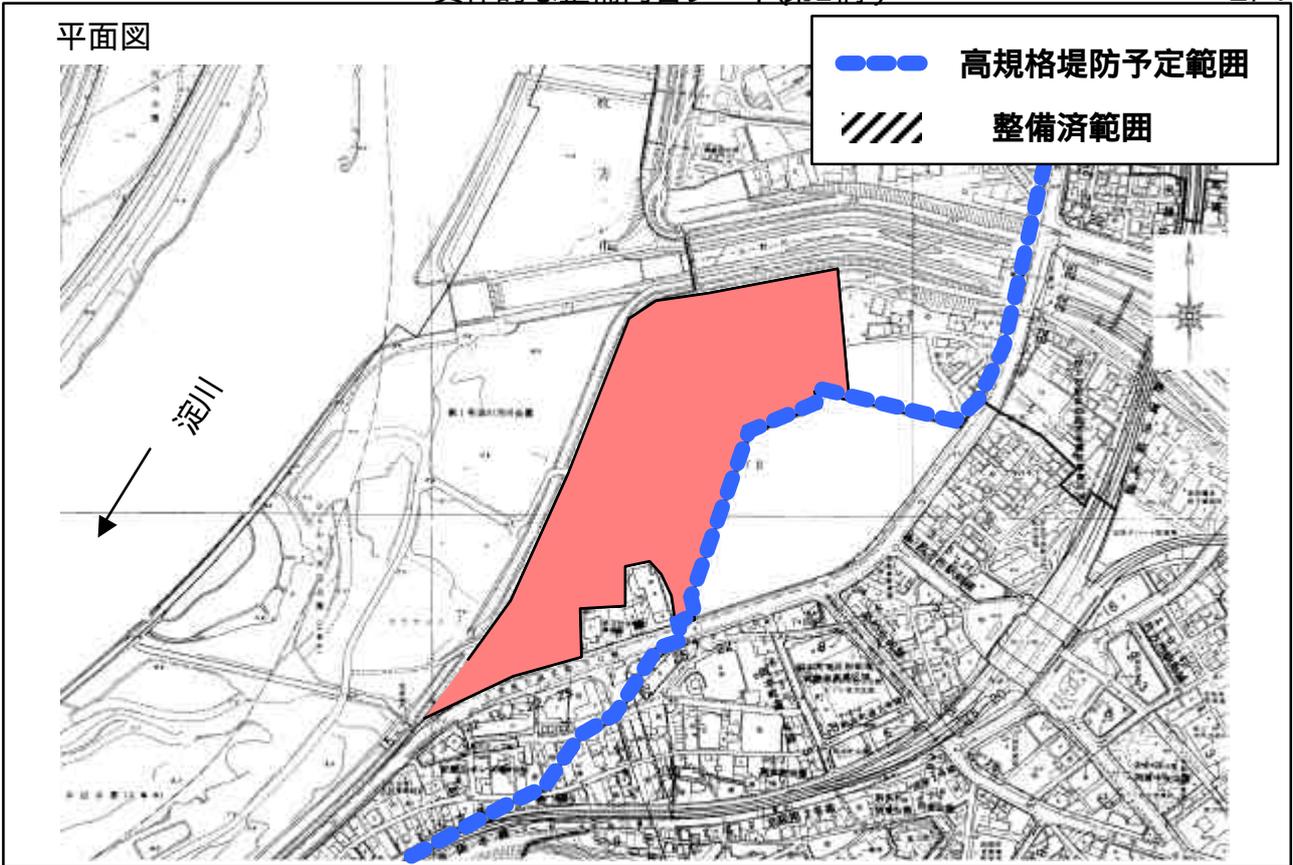
<p>現状の課題</p> <p>破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。</p>	<p>河川整備の方針</p> <p>高規格堤防 まちづくりと一体になった整備の調整が図られた箇所を実施する。また、実施にあたっては、円滑に事業推進できるよう関係機関との連携を図る。</p>
--	---

<p>位置図</p> 	<p>具体的な整備内容</p> <p>高規格堤防 継続地区の新町地区を実施</p> <p>事業の数量 諸元等 (病院建設と一体的に整備) 延長 330m、面積 7.0ha 盛土 15万m³</p> <p>・うち整備計画期間内の数量 諸元等 盛土 7千m³</p> <p>事業費</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>全体事業費</td> <td style="text-align: right;">約 43億円</td> </tr> <tr> <td>・うち執行済</td> <td style="text-align: right;">約 40億円</td> </tr> <tr> <td>・うち整備計画期間内</td> <td style="text-align: right;">約 3億円</td> </tr> <tr> <td>・うち整備計画期間以降</td> <td style="text-align: right;">0円</td> </tr> </table>	全体事業費	約 43億円	・うち執行済	約 40億円	・うち整備計画期間内	約 3億円	・うち整備計画期間以降	0円
全体事業費	約 43億円								
・うち執行済	約 40億円								
・うち整備計画期間内	約 3億円								
・うち整備計画期間以降	0円								

スケジュール

== 実施

H15	H17	H19	H21	H23	H25
					



整備効果

- ・当地区を整備することにより、破堤による壊滅的な洪水被害(下表と下図は当地区で破堤した場合の被害予測)を回避する。
- ・高規格堤防と市街地との一体整備によって、これまで高い堤防で隔てられていた市街地と河川に連続性を持たせ、良好な水辺空間を創出する。
- ・総合病院と一体的に整備することで、水辺への眺望が開けた医療空間を創出する。

想定氾濫被害 (昭和28年台風13号型の2倍降雨)	
破堤地点	淀川左岸 26.8k
被害額	1,000億円
浸水面積	30ha
被災人口	1,400人
浸水家屋	600戸

浸水想定区域図



提案理由

工場跡地を病院建設と一体的に高規格堤防化することについて、調整が図られたので継続して実施する。またこれと併せて淀川河川事務所庁舎敷地の高規格堤防整備を実施する。

調整経緯

- 平成元年度 地権者、枚方市と調整を開始する。
- 平成 5年度 工場跡地利用を高規格堤防を前提とすることについて枚方市の了解を得る。
- 平成 7年度 淀川工事事務所構内部分について事業着手。
- 平成 10年度 病院建設計画との調整を開始する。
- 平成 11年度 地権者と基本協定を締結する。工場跡地部分の事業着手。
- 平成 15年度 全体事業完了 (予定)